

百歳おめでとうございます

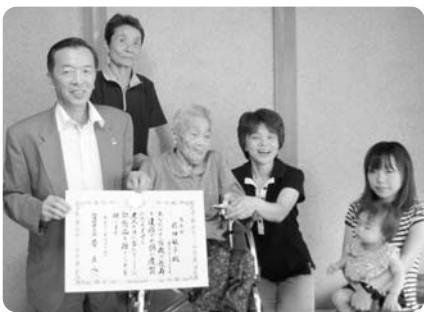
馬場の前田敏子さんが今年百歳を迎えた。9月17日に町長がお祝いに駆けつけました。

今年度は前田さんを合わせて5名の方が百歳を迎えられ、南部町内の百歳以上の方は12名になります。

前田さんは明治43年生まれ。江原村(現在の江原)から嫁ぎ、5人の子どもに恵まれました。

若い頃から歌が好きで、地区の公民館教室で習っていたこともあったそうです。近所への買い物、おしゃべりも大好きで、食べ物の好き嫌いも全くなく、90歳を過ぎても新聞を読むのに眼鏡を使わず、姿勢もとても良かつた前田さん。

数年前から車椅子の生活ですが、孫、ひ孫、玄孫に恵まれ、日々穏やかに過ごされてる姿は、とても幸せそうでした。



いつまでもお元気で！

南部町内にある花のテーマパーク「どつとり花回廊」で、9月12日(日)に韓国のテレビドラマ「アテナ」のロケーションがあり、南部町内の15名がエキストラとして参加しました。季節は秋のシーン。撮影のため服装は皆さん秋物で集合し、午前7時から始まった撮影に臨みました。出演者の一人として扱われるため、韓国テレビスタッフからは厳しい指示や指導もありましたが、韓国ドラマの一員として楽しく撮影に協力しました。

5時間ほどの撮影でしたが、エキストラの皆さんには明るい笑顔があふれていました。



資料提供:TAEWON ENTERTAINMENT

花回廊で韓国ドラマロケ

あいみ手間山

認知症・介護保険勉強会開催



こういった場面では…

8月29日、あいみ分館で『認知症・介護保険勉強会』を開催しました。講師は南部包括支援センターの方々。認知症とは何かを知り、地域で支えていくためには何ができる?』『あなたができる事は何?』について、いろいろな角度から学びました。

認知症は脳の病気であり、早期発見・早期治療の大切さ、予防策、また発症されている方の症状、気持ち、接し方、介護をしている方への理解、また、介護保険のしくみなどの説明を受けました。

参加者からは、「身近に感じる事ができた」「家族の方の貴重な話を聞き、体験されている方から話を聞く事の大切さを感じた」との声が聞けました。

ふるさと交流センターで「指画教室」が開催されました。「指画」とは、筆を一切使わず、手の平・甲・爪・指に絵具をつけて描きます。それは作者の心や感情がそのまま画面に伝わる『十指連心』といいます。このもつた画法です。中国1300年前から伝わる伝統技法指画において、中国・日本で第一人者である濱田珠鳳先生は、世界各地で高い評価を受けておられます。

会場には「先生が絵を描く姿を拝見してみたかった」と来られた方や、「絵を描くことが大好きで以前から習いに行きたいと思っていたけれど、なかなか機会がなかった。今日はこうして絵を習うことことが出来てうれしい」と、みなさん大変喜んで受講していました。



気迫のこもった画法

指画教室開催

天津

こちら振興協議会